



情報オリンピック

に参加しよう!



第9回日本情報オリンピック(JOI2009-2010)表彰式

2010年3月24日 株式会社NTTデータ駒場研修センターイベントホール(東京都目黒区)で挙行



JOI 2009-2010 ブロック別成績優秀者

ブロック制は、全国を6つの地域に分け、各地域の成績優秀者(金銀銅賞以外の者)を表彰する制度です。

ブロック	氏名	学校名	学年	学校所在地
北海道・東北	後藤 弘明	一関工業高等専門学校	2年	岩手県
関東	笠浦 一海	開成中学校	3年	東京都
中部	河田 智明	名古屋市立向陽高等学校	1年	愛知県
近畿	今西 諒文	甲陽学院高等学校	1年	兵庫県
	西脇 友一	灘高等学校	1年	兵庫県
中国・四国	中島 淳平	徳山工業高等専門学校	2年	山口県
九州・沖縄	大城 泰平	久留米工業高等専門学校	2年	福岡県

同一ブロック内での並びは氏名の五十音順
学年は二〇一〇年三月現在



JOI 2009-2010 成績優秀者

本選参加者 60 名中の成績上位 16 名は、春季トレーニング合宿に招待され、IOI 2010 カナダ大会の日本代表選手選抜競技に臨みました。



	氏名	学校名	学年	学校所在地
金賞	村井 翔悟	開成中学校	中3	東京都
銀賞	原 将己	筑波大学附属駒場高等学校	高1	東京都
銅賞	山下 洋史	灘高等学校	高2	兵庫県
優秀賞	今西 諒文	甲陽学院高等学校	高1	兵庫県
	今西 健介	八千代松陰高等学校	高1	千葉県
	上坂 俊允	筑波大学附属駒場高等学校	高2	東京都
	大城 泰平	久留米工業高等専門学校	高専2	福岡県
	笠浦 一海	開成中学校	中3	東京都
	呉本 達哉	樹徳高等学校	高1	群馬県
	清水 駿介	灘高等学校	高2	兵庫県
	城下 慎也	灘高等学校	高1	兵庫県
	中島 淳平	徳山工業高等専門学校	高専2	山口県
	中村 健吾	早稲田高等学校	高1	東京都
	西脇 友一	灘高等学校	高1	兵庫県
	秀 郁未	開成中学校	中3	東京都
	吉里 陸	筑波大学附属駒場高等学校	高1	東京都

(同賞内での並びは氏名の五十音順。学年は二〇一〇年三月現在)



第9回日本情報オリンピック(JOI2009-2010)

参加者 500 名突破！ 成績優秀者 16 名を表彰

第9回日本情報オリンピック (JOI 2009-2010) 表彰式は、3月24日午後2時半より株式会社NTTデータ駒場研修センター・イベントホールにおいて、御来賓、受賞者の保護者、情報オリンピック日本委員会関係者、JOIのOBなど多数の方々の御臨席のもと挙行されました。

はじめに、情報オリンピック日本委員会理事長の守屋悦朗・早稲田大学教授から御挨拶とJOI 2009-2010の経過報告があり、続いて成績発表が行われました。

ブロック別成績優秀者7名の表彰から始まり、優秀賞13名、銅賞1名、銀賞1名、金賞1名の順に呼ばれ、表彰状が授与されました。ブロック別の成績優秀者には元IOI日本代表選手だった奥田遼介君(07年クロアチア)、片岡俊基君(06年メキシコ・07年クロアチア)、吉田雄紀君(07年クロアチア)、秋葉拓哉君(06年メキシコ)、今城健太郎君(06年メキシコ)、渡部正樹君(06年メキシコ)からメダルが授与され、金/銀/銅賞の受賞者には独立行政法人科学技術振興機構理数学習支援部調査役の日紫喜豊様からメダルが授与されました。また、金賞受賞者の村井翔悟君には株式会社NTTデータ執行役員広報部長の本間洋様から優勝カップが授与されました。さらに、副賞として富士通株式会社執行役員常務・藤田正美様(JOI 理事)から、ノートPC「FMV-BIBLO NW/G90T」が金賞の村井君に贈られました。銀賞の原将己君には「FMV-BIBLO NF/G70WP」が、銅賞の山下洋史君には「FMV-BIBLO LOOX U/G90R」が贈られました。続いて、社団法人情報処理学会から「若手奨励賞」が会長の白鳥則郎・東北大学電気通信研究所教授から金/銀/銅賞の受賞者に授与されました。

引き続き白鳥様と文部科学省科学技術・学術政策局基盤政策課調整官・千々岩良英様より御祝辞を頂戴しました。

最後に、受賞者全員で記念撮影をして、3時半に表彰式を終えました。





理事長挨拶

皆様、こんにちは。情報オリンピック日本委員会の理事長を務めております守屋でございます。本日は、ご多忙のところ、また足下の悪いところ、第9回日本情報オリンピックの表彰式にご来臨を賜り、まことにありがとうございます。2005年に日本情報オリンピックを再開して今年度で5年目、第9回を数えるに至りましたのは、多くの方々、企業、学会、国の諸機関のご支援の賜物です。厚くお礼申し上げます。また、情報オリンピックを実施していく上で多大なご協力をいただきました、情報オリンピックOBの皆さんをはじめとする情報オリンピック日本委員会関係者の皆様、広報活動にご協力をいただいた株式会社電通様など、数多くの方々にも感謝申し上げます。



2009年度に実施した主な行事

- 4月 通信教育開始(～8月)
 - 5月 APIO(第3回アジア太平洋情報オリンピック)
 - 8月 国際大会派遣直前合宿研修
- 第21回国際情報オリンピック(ブルガリア)夏季セミナー
- 地域強化拠点レギオ
- 9月 日本情報オリンピック2009/2010 募集開始
 - 12月 予選
 - 2月 本選・本選併催イベント
 - 3月 春季トレーニング合宿(IOI日本代表選考会)

情報オリンピック日本委員会は、このような国際大会へ選手を派遣する事業を通して、数理情報科学の振興と、科学技術立国日本の発展を担う若き人材の育成に貢献したいと念じて活動しております。今後とも、関係諸氏の益々のご支援ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

日本情報オリンピックの予選と本選は2009年12月13日、2010年2月13・14日にそれぞれ実施され、3月19日から始まった国際大会代表選手の選考を兼ねた一週間の春季合宿に参加している16名が選抜されました。今年の予選の応募者は昨年より150名ほど増えて600名を超え、参加者も500名を突破し531名でした。

この合宿で行われた4回の競技の結果に基づき、この表彰式のあとで行われる日本代表発表会で4名の日本代表選手が発表され、8月14日から21日までカナダで開催される第22回国際情報オリンピックに参加します。



御来賓 御祝辞(文部科学省)

文部科学省から、科学技術・学術政策局基盤政策課 調整官の千々岩良英様の御来臨を賜り、御祝辞をいただきました。

『第9回日本情報オリンピックの受賞者の皆さん、誠におめでとうございます。皆さんが、情報科学の分野に関心を寄せ、積極的に取り組まれた成果の現れかと思えます。ご指導に当たられてきた先生方や関係者の方々にも、心からお祝いを申し上げます。』

日本情報オリンピックは、第1回大会が平成6年に開催されましたが、過去参加された皆さんの先輩方はすでに、学会や産業界など様々な分野で活躍されています。

情報科学分野は、現代のあらゆる産業の発展に貢献してきたと言っても過言ではありません。皆さんが引き続き情報科学に取り組み、将来、様々な分野で活躍されることを期待しています。また、今回の受賞者の中から、今年の8月にカナダで開催される第22回国際情報オリンピックの代表が選ばれると伺っております。昨年の大会では、皆さんの先輩が活躍され、優秀な成績を収められたことが記憶に新しいところですが、代表として選ばれた方々は是非伸び伸びとご自身の力を発揮され、また、外国からの参加者との交流を深め、たくさんの方の刺激を受けてきていただきたいと思えます。

科学オリンピックの取組は、様々な業界から期待を寄せられています。今月10日には、ノーベル賞受賞者の江崎玲於奈先生を会長とする「日本科学オリンピック推進委員会」が開催され、野依良治先生をはじめ学会や経済界等の代表の方々がお集まりになり、科学オリンピックの活動を応援されていました。また、昨年12月30日に閣議決定された「新成長戦略」の基本方針には、『知恵』と『人材』のあふれる国・日本が掲げられています。



文部科学省としまして、次代を担う青少年が科学技術に触れ、知的好奇心や探求心を高めていけるよう、引き続き様々な取組を進めて参りたいと思えます。最後になりましたが、本事業を推進されております情報オリンピック日本委員会協賛いただいている企業各位の御尽力に対しまして深く敬意を表するとともに、本事業の今後一層の発展を願ひまして、私のお祝いの言葉とさせていただきます。



情報処理学会『若手奨励賞』授与

金・銀・銅賞受賞者たちには、情報処理学会から『若手奨励賞』が、(社)情報処理学会会長の東北大学電気通信研究所教授 白鳥則郎様から授与されました。若手奨励賞授与に引き続き、白鳥先生から若手へ向けたメッセージを込めたご祝辞をいただきました。

『情報処理学会は今年で創立 50 周年を迎えました。私はすでに 60 歳を過ぎていますが、皆さんはこれから 21 世紀の 50 年以上を過ごしていくことになります。私たちが生きた 20 世紀には「読み書きソロバン」が生活に必要な道具であり、私はソロバンや計算尺を使って中学時代を過ごしました。皆さんは、21 世紀をより良く生きていくために、読み書き(国語力)、ソロバン(数学)に加えて「情報」が重要です。教科「情報」は高校では必修科目ですが、小中学校でも教えるべきであると思っています。

皆さんは日本を背負って世界を生きていく人材です。「読み書き・ソロバン・情報」が重要であることを認識して世界へ羽ばたいて行っていただきたいと願って、私からのメッセージといたします。』



記念講演

表彰式につづいて午後 3 時 40 分から、電気通信大学特任教授で脳科学の第一人者である田中茂先生に『脳=コンピュータ?』と題して講演していただきました。

講演要旨 『動物の内臓は、固有の機能を持っています。例えば、心臓はポンプ、胃は消化器、腎臓はろ過器として働いていることに誰も疑問を感じません。では、脳はどのようにとらえればいいのでしょうか?しばしば、脳は精神の座であると言われますが、昔から、脳はその時代にあって最も複雑な装置に例えられてきました。現代の脳・神経科学では、「情報処理装置」であるという見方が有力視されています。つまり脳は、現代の最も複雑な装置である「コンピュータ」のようなものであるということです。最近、脳の認知過程をコンピュータによる情報処理過程と比較しながら解明しようとする「認知科学」や、脳の計算原理を数理モデルを用いて解明しようとする「計算論的神経科学」という分野が台頭してきました。認知科学では、記憶には長期記憶と短期記憶があることや、短期記憶を長期記憶として固定化するためには「リハーサル」という心的過程が必要であることを明らかにしました。また、計算論的神経科学では、実験的に観察されている神経細胞の電氣的興奮の時間パターンや、神経細胞が多数つながったネットワークのふるまいと学習による変化、感覚系における前処理(特徴抽出)のメカニズムを明らかにしました。本講演では、まず、脳の構造と機能について簡単に概観し、それら新しい分野の研究成果の幾つかを紹介し、脳=コンピュータという図式の上で研究が発展していけば、将来ロボットにも「心」を持たせることが可能になると期待されます。しかしながら、そのような図式で主観的現象である「心」を理解しきれるのかという大きな疑問が依然として残されています。最後に、若い皆さんへの宿題として、この主観的現象を扱う「心の科学」を如何に構築していくのかという大問題にも触れたいと思います。』





第 22 回国際情報オリンピック

カナダ大会日本代表選手発表会



表彰式記念講演会に続いて午後5時から、国際情報オリンピック日本代表選手の発表会を行いました。前日までに行われた4回の競技(1回目・2回目 4時間3問、3回目 5時間3問、4回目 5時間4問、計13問1300点満点)の成績上位4名が、8月14日から21日にかけてカナダの Waterloo 大学で開催される第22回国際情報オリンピック日本代表選手として選ばれました。

はじめに、科学委員会委員長の谷聖一・日本大学教授(JOI専務理事)から選考経過の報告があった後、司会者から代表に選ばれた4名一人ひとりの氏名が発表されました。つづいて、結団式に移り、まず、理事長から谷団長に国旗が渡されました。次いで、株式会社NTTデータ代表取締役常務執行役員・山田伸一様(JOI理事)から選手たちにカナダ大会チームユニフォームとしてオリジナルポロシャツが贈られ、また力強い激励のお言葉を頂戴しました。最後に、谷団長および選手たち一人ひとりがIOIでの活躍を誓う決意表明をしました。マスコミからも取材の記者が訪れ、閉会後の質疑応答とフォトセッションには伊藤哲史副団長も加わって、笑顔が溢れる中、和やかに行われました。



山田様 激励の辞

団長	谷 聖一	JOI 専務理事 日本大学・教授
副団長	伊藤 哲史	JOI 0B 京都大学大学院・准教授 1994年 IOI スウェーデン大会 銀メダル 1995年 IOI オランダ大会 金メダル
選手 (五十音順)	今西 健介	八千代松陰高等学校 1年
	原 将己	筑波大学附属駒場高等学校 1年
	村井 翔悟	開成中学校 3年
	山下 洋史	灘高等学校 2年



選手達と谷団長・伊藤副団長



(左から) 山下君、村井君、原君、今西君



春季トレーニング合宿

表彰式に先立つ3月19日から25日までの一週間、IOIカナダ大会日本代表選手候補として本選で選ばれた16名は、NTT データ駒場研修センター(東京都目黒区)と国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)において春季トレーニング合宿を行い、連日、午前中は競技、午後は講義、夜は問題解説というハードなスケジュールをこなし、24日の代表発表会に臨みました。



松井知己 先生 (中央大学) ↓



↑ 田中 英行 先生
(㈱ Preferred Infrastructure)



↑ 秋葉拓哉 先生
(東京大学)

今城健太郎 先生
(大阪大学) →



合宿参加者 →



第9回 JOI 予選、本選・本選併催イベント、「レギオ」

第9回日本情報オリンピックの予選は、2009年12月13日(日)にウェブ上オンラインで3時間の競技実施予定でしたが、システム障害が発生したため2時間延長して実施されました。つづいて本選は、2010年2月14日(日)午前10時から午後2時までの4時間、国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)に、予選合格者60名を集めて行われました。参加者全員が同じPCを使って、5問の問題を解くためにプログラムを作って競いました。また、本選前日の2月13日にはプラクティス(実機練習)と講演会および懇親会が行われ、14日の本選競技終了後には問題解説会が行われました。本選の成績優秀者16名が合宿(3/19~3/25)へ招待されました。

2月14日には、本選の競技と並行して、参加生徒の在学校の先生方と懇談会が行われ、㈱NTTデータ・後藤章宏様にはJOIへの協賛について、奈良高専・松尾賢一先生、静岡県立浜松工業高校・堀有先生にはそれぞれの学校における情報オリンピックへの取り組みについて紹介していただきました。



問題解説会 →

本選併教員催懇談会

講演 蔵屋 孝 氏 (㈱NTTデータ ビジネスソリューション事業本部)
『渋滞予測システムにおけるデータマイニング技術の活用』

JOI本選（オリンピックセンター） ↓

『レギオ』 →
地域密着型
学習支援講習会



第10回日本情報オリンピック開催予定

第23回国際情報オリンピックは2011年(時期未定)にタイで開催される予定です。日本代表選手候補を選抜する第10回日本情報オリンピックは以下のように開催されます。本選の成績上位者にはメダルと副賞が授与され、春季トレーニング合宿に招待されて選手選抜競技に参加できます。全国を6ブロックに分け、ブロックごとの成績優秀者も表彰します。成績優秀者には多数の大学における入試に関する特典や、夏季セミナーやアジア太平洋情報オリンピックへの優先参加などの特典があります(詳細は情報オリンピック日本委員会のウェブサイトをご覧ください)ので、奮って応募してください。

応募資格 : 次の2つの条件を満たす者:

- ・2011年2月の日本情報オリンピック本選実施時点で高等学校、高等専門学校、中学校、中等教育学校、小学校、特別支援学校に在学し、学年が高等学校2年以下(中等教育学校や高等専門学校などの在校生は高等学校2年に相当する学年以下)であること。日本国内において学校以外の初等・中等教育機関に所属している人は個別に相談。
- ・生年月日が1990年4月2日以降であること。

予選 : 2010年12月19日(日)にウェブ上オンラインで実施する予定です。ウェブから申し込みができ、学校のPC教室や自宅等において参加できます。

本選 : 2011年2月12日(土)13日(日)に東京会場で開催します。参加者には交通費を支給します。予選合格者だけが参加できます。本選と併催して参加者交流セミナー等を開催します(自由参加)。

競技内容 : 与えられた問題を解くために、プログラムを書き、実行して正しい答を出力させます。高校生レベルまでの数学とプログラミングの知識が必要です。予選ではプログラミング言語の種類を問いませんが、本選ではC/C++だけが使えます。

参加料 : 無料です。

申込方法 : 9月1日(予定)から情報オリンピック日本委員会のウェブサイト <http://www.ioi-jp.org/> で受付を開始する予定です。

結果発表 : 予選・本選それぞれ終了後、本人に電子メールで通知します(成績をウェブサイトで閲覧できます)。

特典 : 成績優秀者には以下の特典があります:

- (1) 本選の成績優秀者にはメダルや副賞が授与されます(2009年度には上位3名にノートPCが授与されました)。
- (2) 早稲田大学理工系3学部の情報オリンピック特選入試受験資格 … 本選Aランク者
- (3) 慶應義塾大学総合政策学部・環境情報学部 AO入試1次選考免除 … 本選Aランク者
- (4) その他多数の大学で入試の特典があります。



協賛



株式会社NTTデータ



富士通株式会社



編集・発行

(NPO法人)情報オリンピック日本委員会
〒160-0022 東京都新宿区新宿 7-26-37-2D
TEL: 03-5272-9794 (FAX: 03-5272-9791)
E-mail: info@ioi-jp.org
<http://www.ioi-jp.org/>